

# 霧島山（新燃岳）の火山活動の状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所。

平成 29 年 10 月 16 日

17 時 00 分 現在

内 閣 府

## 1. 火山活動等の概要（気象庁情報：10月16日17:00現在）

- ・10月11日05時34分頃、霧島山（新燃岳）で噴火が発生。その後、噴火の発生と停止を繰り返している。
- ・遠望カメラからの観測によると、噴煙は14日8時23分からはじまった噴火において最高で火口縁上2,300mまで上がった。また、火山性微動の振幅は次第に小さくなっているが依然継続。地殻変動観測では、新燃岳方向が隆起する傾斜変動が13日以降停滞。16日に実施した現地調査において、火山ガスの放出量が1日当たり500トンと15日（1日当たり11,000トン）と比較して急減。なお、九州大学より、新燃岳南西側斜面の数箇所新たな噴気が上がっているのを確認したとの情報提供があったが、16日は天候不良のため確認できず。
- ・引き続き活発な火山活動が継続。
- ・防災上の警戒事項等

火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意。火山ガスにも注意。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意。

### 【噴火警報（10月15日19時00分発表）】

- ・噴火警戒レベル3（入山規制）を継続。
- ・対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。

宮崎県：小林市、高原町

鹿児島県：霧島市

## 2. 被害の状況（消防庁情報：10月16日17:00現在）

### (1) 人的・物的被害

- ・宮崎県、鹿児島県ともに被害の情報はない

## 3. その他の被害状況等

### (1) ライフラインの状況

#### ア 電力（経済産業省情報：10月16日16:30現在）

- ・現時点で被害なし

#### イ ガス（経済産業省情報：10月16日16:30現在）

- ・現時点で被害なし

**ウ 水道**（厚生労働省情報：10月16日16:00現在）

- ・厚生労働省から熊本県、宮崎県、鹿児島県内の水道事業者等に対し、霧島山（新燃岳）の火山活動に関する注意喚起を実施。
- ・現時点で被害報告なし

**エ 通信関係**（総務省情報：10月16日16:30現在）

- ・被害なし

**(2) 道路関係**（国土交通省情報：10月16日15:00現在）

- ・高速道路、直轄国道、補助国道、都道府県・政令市道の被災による通行止め：なし
- ・県道霧島公園小林線（鹿児島県）において、事前通行規制を実施（10/15 19:00～、L=6.8km）

**(3) バス関係**（国土交通省情報：10月16日15:00現在）

- ・1事業者で1路線運休

事業者名	路線(方面)名	被害状況	備考(運行休止区間等)
鹿児島交通(株)	丸尾～えびの高原	運休	

**(4) 文教施設関係**（文部科学省情報：10月16日16:00現在）

- ・現在のところ、被害の情報なし

**(5) 放送関係**（総務省情報：10月16日16:30現在）

- ・被害なし。

**(6) 郵政関係**（総務省情報：10月16日16:30現在）

- ・被害なし。

**(7) 農林水産関係**（農林水産省情報：10月12日10:00現在）

- ・宮崎県高原町において、農作物の一部に降灰が確認。

**(8) 国立公園関係**（環境省情報：10月16日17:00現在）

- ・今のところ直轄施設等に被害なし。

## 5. 政府の主な対応

**(1) 官邸の対応**

- ・情報連絡室設置（10月11日11:05）

**(2) 関係省庁災害警戒会議等の実施**

- ・10月11日 14:30 関係省庁災害警戒会議

## 6. 各府省庁の主な対応

**(1) 内閣府の対応**

- ・内閣府情報対策室設置（10月11日11:05）

- ・内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施（10月11日）
- ・関係機関と連携し、SARによる火山観測を実施（10月11日～）

## (2) 警察庁の対応

- ・警察庁及び関係県警察では、関連情報の収集等を実施中
- ・警察庁では、災害対策室長を長とする災害情報連絡室を設置（10月11日11:05）
- ・宮崎、鹿児島両県警では、警備連絡室等を設置（10月5日～）
- ・鹿児島県警察のヘリテレ映像を官邸等に配信（10月11日）

## (3) 消防庁の対応

10月11日 11時05分 情報収集体制を強化

14時30分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室課長補佐が出席

10月15日 19時00分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置  
（第1次応急体制）

## (4) 防衛省の対応

- ・陸上自衛隊第12普通科連隊（鹿児島県霧島市）が、情報収集態勢等を強化中（10月16日16:00現在）

## (5) 総務省の対応

- ・10月11日（水）11時05分、大臣官房総務課に情報連絡室を設置。

## (6) 文部科学省の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室（室長：施設企画課長）を設置（10月11日11時10分）
- ・関係県教育委員会等に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請（10月5日、6日、10日、11日、15日）
- ・平成29年霧島山（新燃岳）の噴火に係る関係省庁災害警戒会議に防災推進室担当官が出席（10月11日）

### <国立研究開発法人 防災科学技術研究所>

- ・災害対策チームを設置（10月11日）
- ・以下の調査等に職員を派遣  
霧島山（新燃岳）の噴出物調査 現時点3名（10月11日～）
- ・災害関連情報を集約したクライシスレスポンスサイトを開設（10月11日）
  - ・「SAR干渉解析による新燃岳火口内の地表変形（速報）」を掲載
  - ・「新燃岳2017年10月11日噴火の降灰調査結果」を掲載
  - ・「新燃岳2017年10月11日現地調査報告」を掲載
  - ・「2017年10月12日の新燃岳火口の空撮」を掲載
  - ・「新燃岳2017年10月11日～12日噴火の降灰調査結果」を掲載

## (7) 厚生労働省の対応

- ・厚生労働省災害情報連絡室設置（10月11日11:05）

## (8) 農林水産省の対応

- ・九州農政局から「霧島山（新燃岳）の噴火に伴う農作物被害等に対する技術指導について」を通知（平成 29 年 10 月 11 日）

## (9) 国土交通省の対応

- ・関係省庁災害警戒会議の開催を受け、国土交通省災害対策連絡調整会議を実施（10/11）。
- ・九州地方整備局は霧島山周辺の降灰状況を把握するため、防災ヘリ「はるかぜ」による上空からの調査を 10 月 11 日に実施したほか、地上からの現地調査を同日から実施中。  
※これまでのところ、火口付近に火山灰の堆積が認められたものの、山麓に厚い火山灰の堆積は見られず、降灰の影響によって土石流発生の危険性が高まってはいないことを確認した。
- ・11 日 15 時の高原町の情報共有会議において、国交省からヘリ画像を提供し、噴火状況を報告。
- ・国土地理院は、測量用航空機「くにかぜⅢ」による航空機 SAR 観測を実施（10 月 12 日）。
- ・国土地理院は、12 日に観測した航空機 SAR 画像を関係機関へ提供及び公開（10 月 13 日）。
- ・国土地理院は、宮崎県及び関係 4 市町へ火山災害対策用図等の提供のため、TEC-FORCE を派遣（10/12～13）。

○TEC-FORCE 等の派遣【のべ 6 人・日派遣（10/12～）】

○災害対策用機械等出動状況【のべ 10 台・日派遣（9/16～）】（10/16 2 台派遣）

- ・九州州地整より、路面清掃車 1 台、散水車 1 台を計 2 台派遣

## (10) 環境省の対応

- ・九州地方環境事務所のホームページ及びえびのエコミュージアムセンター（環境省直轄）やキャンプ場等において、レベル 3 への引き上げの情報提供及び噴石等への警戒を呼び掛けている。また、15、16 日において、臨時閉鎖。

## (11) 気象庁の対応

- ・噴火警報発表（噴火警戒レベル 3（入山規制）に引き上げ）（10 月 11 日 11 時 05 分。10 月 15 日 19 時 00 分切替。）
- ・降灰予報（定時）を 10 月 11 日 12 時、14 時に発表し、以降は 3 時間ごとに発表。
- ・気象庁本庁記者会見（10 月 11 日 12 時 10 分）
- ・火山の状況に関する解説情報発表（10 月 11 日 16 時 10 分、12 日 11 時 50 分、16 時 30 分、13 日 17 時 45 分、14 日 10 時 20 分、16 時 30 分、15 日 13 時 00 分、16 時 20 分、16 日 17 時 00 分）
- ・火山活動解説資料発表（10 月 11 日 14 時 30 分、18 時 50 分、21 時 35 分、13 日 20 時 40 分、14 日 18 時 15 分、15 日 20 時 20 分）

- ・航空路火山灰情報を10月11日06時04分、06時56分、09時03分に発表。以降は6時間ごとに発表。
- ・気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣。また、電話による聞き取り調査を実施。10月11日、ヘリでの状況調査(九州地方整備局及び鹿児島県の協力による)を実施。10月12日は鹿児島地方気象台及び福岡管区気象台が新湯温泉付近で現地調査を実施。10月13日はヘリでの状況調査(宮崎県の協力による)を実施。10月14日は聞き取りによる降灰調査を実施。10月15日は現地調査により火山ガスを観測。10月16日も引き続き火山ガスの観測等を実施。
- ・引き続き嚴重な観測・監視、正確かつ迅速な情報提供を行い、火山の専門家や地元自治体との連携を密にして、対応に努める。

## 7. 関係地方公共団体の対応 (警察庁情報、消防庁情報：10月16日17:00現在)

### (1) 宮崎県

- ・情報連絡本部設置(5日23:35)
- ・高原町において1か所の避難所を開設(15日20:00～) ※現時点で避難者なし

### (2) 鹿児島県

- ・災害警戒本部設置(11日11:05)
- ・火口から3km圏内に所在する国民宿舎(新燃荘、霧島みやま荘)は閉館(15日)